

ことひら

第62号

令和8年5月

議会だより

3月議会
臨時会(第1回)



中学校の給食も無償化へ！

【詳細は4ページ“臨時会”に記載】

未来につながる予算がスタート

小学校・こども園建設が本格化 過去最大予算の使い道

前年度対比8.7%増加の約97億4500万円となった今年度の予算に対し、集中審議が行われました。予算の詳細につきましては、広報ことひら5月号と合わせてご覧ください。

小学校・こども園建設費

約8億5300万円

問 総事業費が当初よりも増えている。

答 物価高騰等で金額も上がるが、過疎地域指定のため、補助率も上がるので、事業費の増加分がそのまま町の負担額になるわけではない。全体では42億円から58億円で15億円増加しているが、町の財源負担は12億円から15億円の3億円が増加分。



校舎イメージ図

こんぴら歌舞伎大芝居公演費

3億3700万円

問 現時点での、売り上げ達成への見込みは。

答 チケット販売率91%見込みで、動画の発信やテレビ出演など販促を強化している。



小学生による木戸芸者が7年ぶりに復活

コトカ 商工会に委託

400万円

問 個人情報の取り扱い。

答 商工会と連携し、加盟店の拡大と支払業務を委託。チャージや新生児応援金、転入者カード配布は町が担当するため、個人情報提供しない。

第6次琴平町総合計画策定

約800万円

問 どのような計画を想定しているのか。

答 事業の進捗を毎年確認できるように、数値目標を設定予定。データと対話を活用した行政運営のために、『見える化』を想定している。

連絡歩道橋の橋梁点検

約700万円

問 前はいつ行ったか。

答 13年前の平成24年。経年劣化が進行しているので、予防保全のため必要。



町営西駐車場

公衆トイレ洋式化

約1400万円

問 詳細は。

答 全面洋式化し、衛生面に考慮していく。



JR琴平駅前公衆トイレ

こども園にタブレット15台

約300万円

問 用途は。

答 職員の事務連絡やシフト管理機能、保護者からの欠席連絡などが可能で、職員の業務負担の軽減と保護者の利便性向上のため。

議案審査

こども誰でも通園制度

問 利用料はいくらですか。

答 利用料は1時間当たり300円です。ひとり親家庭や生活保護世帯といった場合に減免できます。

問 私立も対象か、また受入数の想定は。

答 私立も基準を満たせば対象となる。対象は、こども園に通っていない家庭育児中の3歳未満の子ども。どれくらいの利用者がいるかは始まらないうと分からない。



こども誰でも通園制度

問 他の市町では、年々利用時間を増やしているが、琴平町は令和10年3月末まで3時間なのか。

答 国の方針で3時間が最低ライン。十分な受け入れが出来るかは保育士の確保による。まずは制度の運用開始を優先。

中学校の給食も無償化

問 無償化して、給食の品数が減るなど不満が出る自治体もあるようですが。

答 昨年からの給食のメニューが少し良くなったと思います。質を保ちつつ無償化できると思います。

空き店舗が増えている

問 空き店舗対策事業補助金200万円の減額について、数年申請が無いようであれば、補助金を小分けにするなど、有効に活用して貰えるように。

答 商工会とも協議を重ね、エリア設定も含め検討する。

借金の返済にあてるお金(公債費)

問 公債費について、約300万円増額となったが、今後も上がっていくということでは、予算組みを考えていかなければならないのか。

答 令和8年度当初予算は、利率を1%上げて借りられるようにはしている。

企業版ふるさと納税

問 文化財保存事業補助金のふるさと納税について詳細な説明をお願いします。

答 企業版ふるさと納税の寄附者の意思として「文化財、旭社に充てる」というものがあり、寄附金の9割を旭社の事業にあて、1割を事務費として財源振り替えします。



臨時議会

国からの交付金の使い道

国からの物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金の総額は約1億5000万円（食料品等の特別加算分を含む）。※詳しくは広報ことひら3月号参照。

交付金のうち、約1003万円を中学校給食費無償化分に充当。

今回のKOTOCAマネー（1万8000円）と中学校給食費無償化分を合わせると約1億6000万円となり、交付金額より約1000万円余り超過するが、一般財源で対応予定。

本補正は事務費で550万円の増額。内訳はKOTOCA IDと住民コードの紐付け確認作業の委託料400万円、集計・印刷費・通信費で150万円。

問

KOTOCA紐付けの委託料が400万円かかるのは負担が重く感じる。

答

全員付与の前提で紐付け確認を徹底するため、業者へ委託する必要がある。

問

中学校給食費無償化に今回は交付金を充当するが、翌年度以降は。

答

令和8年度、小学校は国の方針により無償化予定。県内でも中学校給食費の無償化が広がっており、令和9年度以降は現時点で同様の財源措置が見通せないため、国の動向に合わせ、早期に中学校も恒久的な無償化へ進むよう要望調整していく。



議会改革特別委員会

議会改革特別委員会の設置は、議会が本来の役割を果たしているかを見直し、改善を図ることを目的に設置しました。議会改革の目的を共有し、小さくても具体的な改善を積み重ね、町民の意見を十分に反映できる町議会を目指します。



主な意見

議会として、議員として学ぶ機会を設け、認識を共有していく必要がある。

議員とは何か、一般質問とは何か、一旦基本に立ち返る必要がある。

講師を招いた勉強会を開くのはどうか

執行部との意見交換を行う機会を増やす。

新たな決まりを設けることも一案だが、議員を過度に縛らないよう慎重な検討が必要では。

議会だけでなく、双方に課題があるのでは。

今後は、研修等を含め、協議を重ねて参ります。

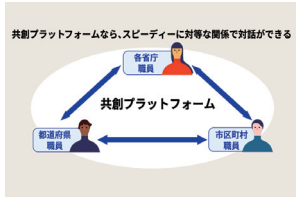
総合計画、予算、人事の整合性

問 住民や議会に対して計画に基づく行政運営、いわゆる計画行政の原則がどのように担保されていますか。

答 次期計画は審議会と住民アンケートやワークショップを通じ、住民の意見を反映させたい。

共創型政策の制度設計と人材育成

問 国や他自治体が参加する共創型の勉強会や研修に参加していますか。



答 国の施策動向を把握し、施策の質と効率を高めるため参加が必要であると認識はしています。

DX時代に対応した理系人材戦略と技術職体制の強化

問 現在の事務体制を維持するのか、理系人材を増やし専門性重視の組織に転換するのかを示してください。

答 私の考えは、専門業務を自前で抱え込むのではなく、専門的な実務には、民間の力を賢く活用していくものです。

観光施策の町内所得化比率の向上

問 観光施策の成果を可視化し、町民所得向上のために町内所得化比率という指標を政策

評価に導入する考えはありますか。

答 地域経済循環率が低下傾向にあり、観光消費を地域内にとどめる重要性は理解しています。

琴平町における「個別最適な学び」と「協働的な学び」の考え方と実践

問 学力調査、自己肯定感、不登校、学習意欲など多面的指標で検証すべきです。

答 複数の成果指標で評価・検証し、取り組んでいます。



森藤 泰生 議員

観光地における駐車場の機能充実と管理体制について

答 近年の観光形態の変化やインバウンド増加を踏まえ、観光振興に資する駐車場への転換が必要。駅前西・東駐車場にAIカメラによるチケットレス精算を導入。24時間対応の無人化を実現。これにより利便性向上とコスト削減を図る。今後はデータ分析を活用して運営改善や料金体系の見直しに取り組む。



これからの自治会のあり方について

答 任意団体であり加入を強制できない。その一方で、地域のつながりを守り、支え合いの力を高めていくためには、自治会の存在が欠かせない。今後も加入促進の呼びかけを続けながら、自治会活動の意義や大切さを丁寧に伝え、より多くの町民の皆様にご理解とご参加をいただけるよう努める。



二地域居住及びふるさと住民登録制度への対応について

答 関係人口は、観光とは異なり地域に継続

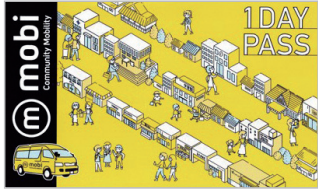
的に関わる存在であり、交流と定住の中間に位置づけられる重要な取り組みだ。人口減少対策や地域活力の維持の観点からも大きな意義がある。

金刀比羅宮をはじめ多くの来訪者がある強みを生かし、訪れた方が拠点を持ちたいと感じられる環境づくりを進めることで、将来的な二地域居住や移住につなげていくことが重要。

一方で、住まいや生活環境、移動コスト、地域との関係づくりなどの課題もある。それらを踏まえ、訪問・交流・移住へとつながる段階的な取り組みを進める。



別所 保志 議員



福祉タクシー券2枚で「琴平mobility」1日乗車券に当日引換できます。



タクシータケット（高齢者福祉タクシー利用券）活用方法を考える

問 一枚5000円のチケットを年間16枚交付。しかし計算上は24.8%のみの活用である。活用方法を問う。

答 町としても認識している。未使用の利用券の一部を商品券等に

還元する案は、本事業の目的が高齢者の外出機会の確保と、それに伴う経済的負担軽減であるため、慎重な検討が必要である。町内のタクシー事業者が1社になつた。それも含めて高齢者福祉タクシー事業におけるmobilityの利用促進を考えている。

再度の役場庁舎問題

問 再度問う。再認識するエレベーターのない庁舎、そして四国唯一の耐震ゼロの庁舎の今後は。

答 現在の役場庁舎は、耐震性能や防災拠点としての機能に課題があることは認識しており、設計業者の報告を待っている。財政負担・安全性・快適性・利便性・町民サービスへの影響の最小化など検証を重ね、早期の庁舎救整備に取り組んでいく。



堀家 正信 議員

町内の看板（通行困難等の文字表示）は、当たり前前に日本語表記されているが、果たしてそれで良いのだろうか

答 英語表記の追加は、有効な手段と考える。併せてイラストの活用等により視覚的な情報の強化も検討していく。今後は、要望のあった町内の危険箇所や注意看板を把握しながら、外国人ドライバーの安全性向上と事故防止に努めていく。

- 掲載出来なかった質問
- 未来に向けて琴平町の交通手段をどのように組み立てるのか
- デジタル教科書正式導入

金丸座火災報知器取り付け工事について

問 町長は12月議会の私の質問での答弁で、市価5、6千円のものの色を塗っただけでなぜ7万1400円になるのか。町長は金丸座仕様というところで、報知器の中に機器を組み込んでいると答弁されましたが、金丸座に取り付けるのであればメーカーがそれに適合した機器を選んでいく。改めて二重にすることは。また、報知器の中を見ると何も入っていない。

答 設計書通りである。



竣工検査、名前を変えて同程度の検査を2回行っていることについて

問 工事業者が工事を終えたら正常に作動するかどうか試験をする。それが常識。社内検査に於いて料金を取ることはない。それも全く同じ試験を。南部消防の検査があれば十分。

取り付け工事代について

問 取り付け代1台約2万7600円は高い。4本のビスで止め、結線をして高い。エアコンの取り付け代でさえ標準工事のみであれば1万4300円。工事代金の整合性が取れない。

答 火災報知器工事については文建協の設計書をもとに業者が行ったもの。



山神 猛 議員

問 文化財建造物保存技術協会（文建協）は民間団体で、公的機関ではない。



器具取り付け工事と配線工事で1台あたり約7万7千円は高い。

- 掲載出来なかった質問
- 火災報知器の工事明細書、黒く塗りつぶされていた
- 琴平中学校建設工事に於ける設計書と納入の品が違うことについて
- 統合小学校、こども園の建設工事について
- 琴平の人口減少を止める町施策の考えを示せ

町民、及び観光客の
移動手段の確保は

問 2026年1月末をもって

駅前タクシース事業者が撤退し、現在町内のタクシー事業者は1社のみとなった。私は以前からこの地域公共交通については、複数回質問してきたが、執行部から具体的な方策はなんら示されていない。人口減少と高齢化が著しい当町において、町民の移動手段の確保は自治体の責務である。近隣の市町では協議会や交通事業団を設立し、真剣に取り組んでいるところもある。観光客の移動手段にも関連するこの問題について、街の交通体系をどう考えているのか、町長の意見を伺いたい。

現在mobiが朝7時から夜10時まで運行しており、住民の生活を支える貴重な移動インフラとなっている。しかしコロナ禍以降人手不足や運転手の高齢化といった業界全体での構造的課題が当町でも顕著化してきている。国や他市町の動向を参考にしながら取り組んでいきたいと思う。

問 そのmobiを行なっている民間事業者だけで、町内の住民や観光客の足は足りているという考えか。

答 完全に十分とは言えないと思う。

問 非常に重要なことだと思うのでその事業者と今後の対応について協議して頂きたい。



移動手段の確保にまったなし!!



吉田 親司 議員

掲載出来なかった質問
○こんぴら文化観光プロジェクト三カ年計画は
○英語教育の拡充についての考えは

5歳児健康診査の導入

問 母子保健法に基づき、1歳6ヶ月および3歳児健康診査を実施しているが、それ以降

就学前検診まで、公的な検診の機会がない。5歳児健診は、医療的確認、保護者の育児不安の軽減、虐待予防や家庭支援の早期介入、特別支援教育等への円滑な接続といった福祉・教育の両面にわたる波及効果が期待できる。



答 県が、5歳児健診への財政措置を検討しているとのこと。前向きに検討する。

脊柱側弯症検査と体組成計(インボディ)の活用

問 学校検診時に、学校医による視診等(目視)による確認が行われているが、県からの補助を利用し、機器を用いたスクリーニング検査を導入している自治体が増えていく。学校健康診断へ組み込むことは、

答 学校等と協議し、積極的に活用していきたい。

問 体組成計(インボディ)を活用し、筋肉量、基礎代謝量などを知らねこと、児童生徒は自分の体の成長やバランスを理解し、運動、



イメージ画像

食事、生活習慣の改善に結びつけることができる。学校健診に体組成計の導入は。

答 子ども・保健課で本年度インボディを購入しているため、学校現場での利活用も協議してまいりたい。



寺岡 伊代 議員

掲載出来なかった質問
○こんぴら学びの探検隊の今後

マルナカがずっと琴平
でいてもらうために

問 スーパーマルナカが琴平町ですと存続してもらうために、ここ3ヶ月間で町長はどのような行動をとったのか。

答 私は毎度のように議会広報に載せているが、それは住民の関心が高いからだ。マルナカを残して欲しい。フジとマルナカは同じ組織である。面会して琴平町民の声を先方に届けて下さい。真剣に、粘り強く、危機感をもって。

町内スーパーの存続は、町としても重要課題の一つとして認識している。琴平町民の切実な声やスーパーを残してほしいという強い思いを繰り返し伝えるなど、継続的に状況の把握と情報交換に努めている。



今月末には事業者本社の方と面会する予定になっており、改めて町民の声を伝えるとともに、町としても可能な限りの協力をする旨をお伝えしたいと考えている。
しかしながら民間企業の経営判断に関わることなので確たることは申し上げられないが、今後もしも真剣に粘り強く担当者との対話を続けながら、住民の皆様を不安を解消できるように全力で取り組んでいく。



歩いて行ける安心をなくさない！



眞鍋 籌男 議員

掲載出来なかった質問
○町長は山神議員の発言をなぜ報道関係に流したのか
○今年のこんぴら歌舞伎、看板役者がいないのはなぜか
○琴平町の庁舎は新築に

地域づくりについて

問 近年、古民家やアパート等に外国籍の方が増えていると聞く。文化や言語も異なる環境下で生活しており、不安や悩みを相談することも困難な状態では。

答 外国籍住民を一元的に把握する仕組みはなく、人数や居住実態について把握していない。私の記憶では300人を超えているかと思う。特に南部に多い感覚である。

これまでに、ごみ出し等の地域のルール違反問題や夜間の騒音等の苦情の相談が琴平町や警察にあり、その都度、大家さん等に連絡して対応している。

町として、戸別訪問は困難だが、地域住民とのトラブル等については、共生社会の一環として、対応しなければならぬと考えている。

問 トラブルになる前に、地域の方々と笑顔で話し合いができることが地域づくりだ。この問題は時間を置くと、さらに問題が重なる。そうなる前に、行政が最初に始めるべきだと思うが。

答 社協や学校、子どもにも関わってくるため、各方面との連携や情報共有が大事。問題が起きてからの対応も含め、どう取り組むべきか、特に福祉や住民に関わる担当部署で検討する。



イメージ画像



豊嶋 浩三 議員

掲載出来なかった質問
○まちづくりについて

議案の審議結果 令和8年3月定例会 『全会一致で可決した議案』

議案第1号	専決処分の承認について（令和7年度琴平町一般会計補正予算（第7号））
議案第2号	令和8年度琴平町一般会計予算
議案第3号	令和8年度琴平町国民健康保険特別会計予算
議案第4号	令和8年度琴平町駐車場特別会計予算
議案第5号	令和8年度琴平町介護保険特別会計予算
議案第6号	令和8年度琴平町後期高齢者医療特別会計予算
議案第7号	令和8年度琴平町温泉事業特別会計予算
議案第8号	令和8年度琴平町公共下水道事業会計予算
議案第9号	令和7年度琴平町一般会計補正予算（第8号）
議案第10号	令和7年度琴平町国民健康保険特別会計補正予算（第3号）
議案第11号	令和7年度琴平町駐車場特別会計補正予算（第2号）
議案第12号	令和7年度琴平町介護保険特別会計補正予算（第3号）
議案第13号	令和7年度琴平町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
議案第14号	令和7年度琴平町温泉事業特別会計補正予算（第2号）
議案第15号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
議案第16号	琴平町附属機関設置条例の一部を改正する条例
議案第17号	琴平町報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例
議案第18号	琴平町国民健康保険条例の一部を改正する条例
議案第19号	琴平町立認定こども園条例の一部を改正する条例
議案第20号	琴平町特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例
議案第21号	琴平町特定乳児等通園支援の利用時間に関する経過措置を定める条例
議案第22号	琴平町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
議案第23号	琴平町健やか子ども基金の設置管理及び処分に関する条例の一部を改正する条例
議案第24号	琴平町学校給食費に関する条例の一部を改正する条例
議案第25号	琴平町社会福祉センター設置条例の一部を改正する条例
議案第26号	第5次琴平町総合計画について
議案第27号	人権擁護委員の候補者の推薦について
発議第1号	琴平町議会委員会条例の一部を改正する条例
発議第2号	琴平町議会会議規則の一部を改正する規則

議案の審議結果 令和8年3月定例会 『賛否が分かれた議案』

議案名等	議員名	議席番号										議決月日			
		賛成	反対	結果	採決	1 渡辺	2 寺岡	3 堀家	4 別所	5 吉田	6 豊嶋		7 森藤	8 山下	9 眞鍋
議案第2号 令和8年度琴平町一般会計予算		7	2	可	—	○	○	○	○	○	○	○	×	×	3/23
議案第9号 令和7年度琴平町一般会計補正予算（第8号）		8	1	可	—	○	○	○	○	○	○	○	×	○	3/23

※ 可…可決 ○…賛成 ×…反対 —…議長（議長は可否同数の場合のみ表決権があります。）

反対

町長の公用車は高級すぎであり経費削減が必要。職員数の増加も人口減少と矛盾している。さらに業務や行事の外部委託が増え、自主性や住民に寄り添う姿勢が薄れている点を見直すべき。（山神）

討

論

賛成

厳しい財政下でも住民福祉と将来投資を両立した堅実な内容。物価高対策や包括的福祉、教育環境整備を評価する。一方で人口減少などの課題に対応し、効果検証と柔軟な執行を求める。（森藤）

人権擁護委員の候補者の推薦に同意

いし 石 橋 ぼし 満 氏（上櫛梨） 任期は、法務大臣の委嘱を受けた日から3年間。

全国自治功労賞

町村議会議員として議会の運営及び地域の振興発展に特に顕著なる功労があった者として山下康二議員が、また、地方自治の振興に功労があった者（在職15年以上）として渡辺信枝議長が、全国町村議会議長会から表彰されました。



山下 康二 議員



渡辺 信枝 議長

香川県自治功労賞

地方自治の振興に功労があった者（在職10年以上）として、香川県町村議会議長会から3名の議員が表彰されました。



豊嶋 浩三 議員

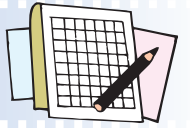


吉田 親司 議員



別所 保志 議員

議会活動：広報クリニック研修



見る→読む→心が動く→行動する！

議会広報は、これからどう変化していくのか

全国町村議会議長会が主催する町村議会広報クリニックに、琴平町として初めて参加しました。研修内容は対話型で、何度も席替えをし、全国の広報委員の方々と直接意見交換できたことが大きな経験と成果となりました。お知らせや報告だけではなく、町の人の顔や声が聞こえる紙面を目指します！



徳島～沖縄まで様々な自治体と交流

令和8年6月定例会日程 (予定)

日	月	火	水	木	金	土
7	8	9	10	11	12 9:30～ 本会議 (提案理由説明等)	13
14	15 (休会)	16 9:30～ 本会議 (一般質問)	17 9:30～ 本会議 (一般質問)	18 9:30～ 総務産業経済常任委員会 (議案審査)	19 9:30～ 教育厚生常任委員会 (議案審査)	20
21	22 9:30～ 本会議 (委員長報告、採決等)	23	24	25	26	27



編集後記

ボルドーワインの代表的な原料であるカベルネ・ソーヴィニオンは、若いワインのうちは強い渋みを感じさせる黒ブドウです。

しかし、その渋みこそが時を経ることで味わいに複雑さが加わり、やがて真価を発揮します。

この特性は「熟成に耐える」という言葉で表されます。時間とともに劣化するのではなく、むしろ深まり、魅力を増していく——どこか人生にも通じるものを感じさせます。

私自身、そうした時間をかけて育っていくものを大切に、見守っていきたいと思います。

(森藤 泰生)

会議録もご覧ください

議会だよりでは、紙面の都合により内容を要約してお伝えしています。質疑・答弁の詳細は、会議録に詳しく掲載されていますので、ぜひご覧ください。会議録は町ホームページ内、議会欄、会議録検索システムでご覧になれます。

琴平町議会

検索



詳しくは議会事務局(☎75-6713)までお問い合わせください。
E-mail: gikajimukyoku@town.kotohira.lg.jp

発行責任者	議長	渡辺 信枝
議会広報編集特別委員会	委員長	寺岡 伊代
	副委員長	眞鍋 壽男
		山神 伊代
		森藤 泰生
		親司 猛
		吉田 泰生
		堀家 正信